

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	第5回加須市病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想推進懇話会
開催日時	令和5年10月31日（火） 13時30分から14時50分まで
開催場所	加須市役所 505会議室
議長氏名	高野 千春
出席委員	並木 秀夫、内田 親、荒井 麻琴、宗像 里美、松本 昇、 眞中 紀、正能 好子、田沼 宣喜、越野 晴秀、藤田 直樹、 高野 千春、村山 浩之、高村 茂、木村 重雄
欠席委員	鈴木 良子、野口 智章、奈良 和哉、福島 祐一、鈴木 勝幸、 酒井 辰夫
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）優先的まちづくりゾーン基本計画の最終案について （2）一体的まちづくりゾーン基本計画（案）について （3）その他 4 閉会
会議資料の名称	・優先的まちづくりゾーン基本計画の最終案（資料1、資料2） ・一体的まちづくりゾーン基本計画（案）（資料3）
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	スーパーシティ推進課課長 柿沼 順
事務局職員職・氏名	都市整備部部長 成田 幹雄、産業振興課課長 橋本 敬之 農業振興課課長 野中 裕、農業委員会事務局次長 前島 勝己 スーパーシティ推進課課長 柿沼 順 スーパーシティ推進課主幹 大塚 弘、同課主幹 鈴木 大輔 委託業者 ㈱地域デザインラボさいたま
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(大塚主幹)	1 開会
高野会長	2 会長あいさつ
高野会長	3 議事 (1) 優先的まちづくりゾーン基本計画の最終案について、事務局より説明をお願いします。
事務局(柿沼課長)	※資料1により説明
高野会長	それぞれのお立場でご意見ご質問等ございましたら、ご発言ください。
並木委員	宿泊施設はビジネスホテルだと思いますが、病院関係者だけでなく外部から来る方も利用すると思います。 令和8年度に加須市でねんりんピックを開催できるよう、現在調整を進めていますが、全国から選手等が1,000人近く集まってくると思います。 ビジネスホテルの状況について教えてください。
事務局(柿沼課長)	現在市内には、加須駅北口にセンターホテルと第一ホテルの2つのホテルがあり、さらに加須駅南口に立地根拠を設けまして、ホテル事業者が手を挙げてくれれば、整備に至ることになります。 計画の進捗が早くなる可能性もなくはないと思いますが、現在の予定では大変恐縮ですが令和11年度ぐらいに整備される見込みです。
眞中委員	大きい大会等の受け皿として宿泊施設があると、市内に泊まり飲み食いしてお金を使っていただくことも大きな経済効果となります。 地場産レストランで加須うどんをとのことですが、加須手打うどん会も現在、後継者問題等で厳しい状況です。 そのような中で、うどん会の会長さんなどいろいろな方からお話を聞いていただき、この計画を進めていただければと思います。その中に商工会も入らせていただいて、意見交換をさせていただければ大変ありがたいと思います。
事務局(柿沼課長)	加須名物のうどんを計画のエリアの中で、大勢の方に食べていただくために店舗の担い手をどうするか、うどん会の会長さん、また商工会の役員さんとも相談させていただきたいと考えています。 多くの方に加須のうどんを食べていただき、リピーターになり、さらにそれが広がって市内のうどん店にも波及していくような流れにな

	ればと考えています。 またソフト事業になります。後継者の確保について、農業にも同じような担い手問題がありますので、経済部と連携しながら、どういった形で進めていけるか検討したいと考えています。
越野委員	今回の基本計画は、今後への期待が高まり、内容としてよく練られていると感じています。
	済生会加須病院の周辺は、車も人の往来もあると感じており、相乗効果で加須駅を利用される方が増えることは、我々にとってもありがたい話で、ぜひ事業化に向けて進めていただければと思っています。 駅を中心とした商業圏があるなか、今後この基本計画に基づき、さらにいろいろな波及を生み出すように、今の市街地のメンバーと今後のまちづくりをどのように繋げていくのか、継続して議論いただきますようお願いします。
事務局(柿沼課長)	病院の開院をきっかけに加須駅南口のまちづくりを進めるとともに、北口の中心市街地、最近新しくお店を出して下さる事業者もいますが、そういった盛り上がりをさらに進めていき、車やバス、電車で来た方に、歩いて南から北へ、北から南へ市内を散策していただきたいと考えています。
	加須駅北口については、埼玉県のスーパードットシティプロジェクトにエントリーし、この基本計画を進めるとともに、県の関係部署からアドバイスをいただきながら進めたいと考えています。
事務局(成田部長)	現在29の自治体がエントリーしている埼玉版スーパードットシティプロジェクトに、病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想で示す「まちなかにぎわい創出ゾーン」を対象として加須市もエントリーしました。年明けにも公表される予定となっています。 空き家や空き地を活用したり、商店街のコミュニティをより一層図ったりといった仕掛けづくりも今後考えていく状況です。 現在、優先的まちづくりゾーンを進めています。並行してこのまちなかも進めていきますので御理解と御協力をお願いします。
荒井委員	子育て世代としては都市公園が気になります。 あちこちに公園がありますが、野球や花火をしないでと書いてあったり、雑草が生えていてベンチも見えず、やっと対応してもらったと思うと今度は除草剤がまいてあるので入らないでと書いてあったり、子どもたちにとって窮屈な公園になっていると感じます。 外で遊ぶことも減っていると思いますが、花火ができる公園、野球やサッカーができる公園などがあると、子どもたちはそこに行きたい

	と思いますし、親も家の中でゲームをしているより外で伸び伸びと遊んでもらいたいと思うので、そういう公園の整備をしていただけると、子育て世代としては助かります。
事務局(柿沼課長)	思いきり身体を動かせたり、野球ができたり、安全を確保しながら花火ができたり、市内にいろいろな公園が点在をしています。 遊び型やスポーツ健康づくり型など公園を分類し、その公園に合った使い方を地域の皆さんにお願いしています。 また、公園の維持管理が行き届かない部分もありますが、今回の優先的まちづくりゾーンで整備を予定する公園は、ある程度の規模もありますので、防災機能も兼ね備えつつ子どもたちが遊べる公園として、ご提案も考慮して担当課と連携し進めたいと思います。
事務局(成田部長)	本市には、開発行為で作られた小さな公園も含め約 350 の公園があり、遊び型、スポーツ健康づくり型、コミュニティ広場型、自然文化歴史型という機能に応じた4つに分類しています。 どこの公園に行っても同じではなく、使い分けができるようメリハリのある公園づくりを心がけて再編を進め、遊具についても、管理は大変ですが木製遊具を設置し、少しずつ工夫しながらニーズにお答えできるよう取り組んでいます。 今回新しく作る公園についても、いろいろな意見を取り入れながら、より良いものになるよう心がけ、また、最近の自然災害への対応として防災機能も兼ね備えたものも有効ですので、そういった視点も取り入れて取り組みたいと思います。
高野会長	防災機能という点では、公園のトイレについてもこの機会に検討いただき、多目的やジェンダーレスといった今の時代に合わせた、先を見越した整備というのも考えていただけたらと思います。
高野会長	ほかにご意見ご質問がないようでしたら、次に参ります。 (2) 一体的まちづくりゾーン基本計画(案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局(柿沼課長)	※資料2により説明
高野会長	それぞれのお立場でご意見ご質問等ございましたら、ご発言ください。
松本委員	農業委員会としては、優良農地を残し耕作放棄地を減らす、担い手の農家を増やしたいと考えています。 計画の対象エリアの礼羽地区には、農家をやっている人が6～7人いて、そのうちの1人は外国の方が新規参入しています。騎西地区も農業をやっている方が多い状況です。

	計画にあるスマート農業や有機農業、営農型発電などを利用して地域の農業振興が図れればよいと思います。
事務局(柿沼課長)	既存の担い手や新規にこの地域で農業をやりたいという民間事業者の進出等により、稼ぐ農業や新規就農の体験の場など、今後の加須市の農業が継続的・持続的に取り組める仕組みを、農業振興課や農業委員会とも連携して、地域の耕作者等と話し合いながら進めていけたらと考えています。
高村委員	礼羽地区は、農業振興を一生懸命やっている地区で、中間管理事業も積極的に取り組んでいただいている地区です。 計画の有機農業とスマート農業については農地を使うのでよいと思いますが、営農型発電は太陽光パネルを農地の上に置くので、見た目が黒くなってしまい暗いイメージになることが気になります。 また、作物には太陽光が必要ですので、隙間をあけてやると思いますが、データに基づいて設置してほしいと思います。もし、撤退した場合はパネルが残ってしまうので、現状回復などの担保をとって進めてもらいたいと思います。 申請する方が農地の真ん中に出たいと言った場合は、市のリーダーシップのもと場所の誘導などの対応をお願いしたいと思います。
事務局(柿沼課長)	太陽光発電については、農業振興課とも協議した中で、場所やその広がりはどうするかという点が課題であり、事業者撤退などのリスク管理という点にも留意しながら進めたいと考えています。また、エネルギーの地産地消としてエネルギーが循環できる仕組みづくりといった視点も加えて想定していますので、有効利用できるような形で進めたいと考えています。 なお、事業者がどの場所に立地するかは、土地の権利者や耕作者との協議を進めないとうまくいかないため、これまでの営農の形を壊さない配慮もしつつ、経済部と連携し、加須農林振興センターからアドバイスをいただきながら丁寧に進めていきたいと考えています。
高野会長	計画の中で「田園都市加須ならでの」という表現がたびたび出てきます。キャッチコピー的にはわかりますが、漠然としているので、イメージを聞かせていただきたいと思います。
事務局(柿沼課長)	市役所周辺などに都市的な土地利用がある一方、少し車を走らせると、北の樋遣川地区や大越地区などには緑の水田が広がります。田園や川などと住宅地が共存している風景を、総合振興計画において「田園都市」と表現しています。 北川辺は地域の真ん中のほとんどが水田で、施設園芸ではトマトや

高野会長	苺があります。大利根地域は水田のほか苺があり、加須地域はキュウリや一部でブドウも栽培しています。騎西地域は水田のほか麦やイチジク、梨もあります。また、新しい作物の開発についても仕掛けていけたらと考えています。
高野会長	田園というと、秋になれば黄金色になり、風が吹けばそよぐような景観をイメージします。 景観をコンセプトとして取り入れているのであれば、先ほどの高村委員の言葉にもあったように、見た目もぜひ大事にしていけたらよいと感じました。
高野会長	ほかにご意見ご質問がないようでしたら、次に参ります。 (3) その他について、事務局より説明をお願いします。
事務局(大塚主幹)	今回の懇話会の予定ですが、一体的まちづくりゾーン基本計画(案)につきましては、このあと予定しているパブリックコメントの結果と、優先的まちづくりゾーンにつきましては、事業予定者の公募に向けた取り組み、この2点についてご協議いただきます。
高野会長	日程につきましては、12月～1月の開催を予定しておりますので、調整をさせていただき、決まり次第通知いたします。 資料につきましても、事前にお送りいたします。 以上をもちまして、本日予定されました議事は、全て終了いたしました。 これにて、議長の任を下ささせていただきます。 皆様、ご協力ありがとうございました。
事務局(大塚主幹)	4 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注) 令和5年11月14日 署名 <u>高野 千春</u>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。